

# 火災対策

## ●火事だ！その時どうする？

### 行動1 通報

- 大声で「火事だ！」と叫ぼう**
- 大きな声で、隣近所に知らせる。
  - 小さな火事でも119番通報する。

### 行動2 初期消火

- 出火直後が勝負**
- コップに入った水や座ぶとんなど、身近なものを最大限に活用しましょう。(無理はしない！)

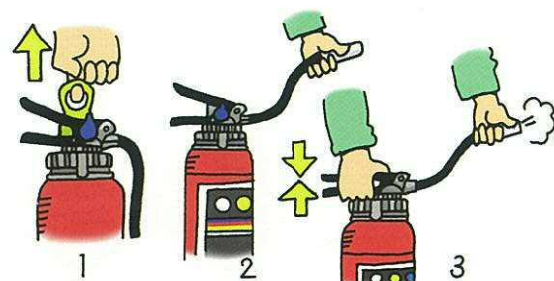
### 行動3 避難

- 危険を感じたら直ぐ避難**
- 避難する時は燃えている部屋の窓やドアを閉め空気を遮断して速やかに避難する。

優先順位は状況により異なります。出火直後なら「通報」と「初期消火」の優先順位が高くなりますが、そのために逃げ遅れては大変です。あわてず冷静な判断を心掛けましょう。

## ●消火器の使い方

- ①安全ピンを上引き抜く。
- ②ホースをはずして火元に向ける。
- ③レバーを強くにぎって噴射する。



### (消火器取り扱いのポイント)

- ①火の風上に回り、風上から構える。
- ②やや腰をおとして低く構える。
- ③熱や煙を避け、炎には真正面から向き合わない。
- ④炎を狙うのではなく、「火の根元を手前からほうきで掃くように左右にふる。」



### ※消火器の場所を確認しておこう

火災の際に、消火器がどこにあるのかわからないようでは困ります。普段から確認しておきましょう。

## 逃げるタイミングは…天井への延焼です！



避難する目安は、天井まで火が燃え移ったとき。火が天井に燃え移るまでの間は初期消火に努めますが、もし炎が天井に燃え移ったら、けっして自分で消火しようとせず、迷わずすぐに避難をしてください。



## ●火元別の消火方法を覚えておきましょう

### ストーブ

- 消火器は、直接火元に向けて噴射する。石油ストーブの場合は、粉末消火器を使用する。
- 消火器がない場合は、水にぬらした毛布などを手前から滑らすようにかぶせ、空気を遮断する。



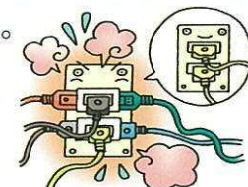
### コンロ (天ぷら油)

- まず、コンロの火を消す。水をかけるのは厳禁。
- 粉末消火器は鍋の全面を覆うように、強化液消火器は鍋のふちに向けて噴射する。
- 消火器がない場合は、ぬらしたシーツやバスタオルを手前からかぶせ、空気を遮断する。



### 電気機器

- コンセントかブレーカーを切り、粉末消火器で消火する。
- 泡消火器などは、水をかけると感電の恐れがあるので使わない。



### カーテン・障子

- カーテンなどは上に燃え広がる前の対処が重要。火がついたら、引きちぎって消火する。
- ふすまや障子などはけり倒し、足で踏んで消す。その後、水をしっかりかけて消火する。



### たき火

- 消火器を使う。消火器がない場合は水をかける。水の準備ができないときは、近くのほうきや木でたたいて消し、その後、水をしっかりかけて消火する。



### 着衣着火

- 水をかける。水で消せないときは、床、地面を転げ回って消火する。髪の毛に火がついたら、タオル等を頭からかぶり、空気を遮断する。



## ※自分ができる範囲の方法で消火しましょう。

## 本当に恐ろしいのは煙です！

煙は一酸化炭素などの有毒ガスを含んでいるため、吸い込むと中毒などにより命を落とす危険性があります。煙は上方向へは3~5m/秒で、横方向へは0.5~1m/秒で広がります。

避難のポイントは…

- タオルやハンカチなどで、口と鼻をおおう。
- 出来るだけ低い姿勢をとる。
- 視界が悪いときは、壁づたいに避難する。



火災の発生を知らせ逃げ遅れを防止する「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられています。